

(様式 1-5)

富岡町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和5年7月31日時点

※本様式は1-3, 1-4に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	美と平和の親善大使「ミス・インターナショナル」を通じて富岡の今を伝える魅力発信事業	事業番号	A-3
事業実施主体	富岡町	総交付対象事業費	4,202千円		
既配分額	0千円	当該年度交付対象事業費	4,202千円		
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
①情報発信事業					
小計 4,202千円					
i) 風評動向調査 千円					
ii) 体験等企画実施 4,202千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成 千円					
iv) ポータルサイト構築 千円					
②外部人材活用					
小計 千円					
i) 企画立案のための外部人材の活用 千円					
ii) 地域の語り部の育成 千円					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 千円					
風評の払拭に関する目標					
・令和7年度の富岡町における入込客(外国人観光客含む)70,000人 (令和3年度入込客数22,848人の約3倍)					
事業概要					
事業実施主体	富岡町				
主な企画内容	・町内小中学生などの子どもたちとの意見交換や文化体験による交流の実施 ・震災伝承施設及び復興へ取り組む観光スポットへの視察 ・富岡町民との懇談会における町内や県産品の食材を使用した料理の提供による風評払拭及び魅力発信				
主な事業の実施場所	福島県富岡町内				
事業の実施期間	令和5年10月				
企画内容					
【現状・課題】					
<現状>					
・富岡町は、令和5年4月に特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、町の約93%が解除された。					
・桜の名所である夜の森の桜並木の開花時期には多くの方が花見に訪れ、富岡町における観光入込客数は徐々に回復してきているが、未だ震災以前の水準に戻っていない。					
・ALPS処理水の海洋放出の開始時期については、令和5年夏頃に放出される見通しが示されている。					
<課題>					
・福島県産品への忌避と放射線への健康影響への不安を改善するには、発信力のある国内外の方への働きかけが重要。					
・ALPS処理水の海洋放出により、富岡町や福島県沿岸部自治体への客足が再び遠のく恐れがある。					
・原子力災害が発生した東京電力福島第一原子力発電所と第二原子力発電所に挟まれた町である富岡に足を運んでもらうには、発信力のあるインフルエンサーに被災地の現状を実際に見て正しい情報を理解してもらい、その情報を国内外に発信してもらうことが重要である。					

【課題に対するこれまでの取組と成果】

- ・ YouTube や Instagram などの SNS を使用して、町内の観光スポットなどの発信を行っている。
- ・ 町内視察等の受入れなどは行っているが、海外向けの情報発信は十分に行われていない。昨年度は、ミス・インターナショナル各国代表 14 名を招聘し、第一原発視察のほか町内施設を視察いただき、SNS やメディア等を通じて発信していただくことができた。
- ・ 町内にゲルマニウム半導体式核種分析を配置し、農産物などに含まれる放射性セシウムの検査体制を構築。町のホームページの「とみおか放射線情報まとめサイト」において、放射線関連のモニタリングや食品などの放射性物質の測定結果など、様々な放射線に関する情報をわかりやすく発信している。
- ・ JR常磐線富岡駅に設置した観光案内所において、農産物等の直売スペースを設け、地域住民や訪問者に町内産農産物や加工品を販売する取組を行っている。
- ・ 町観光協会や町づくり会社に委託し開発された町内農産物を使った特産品（日本酒や煎餅など）を県内外のイベント時に販売し町内農産物のPRを行っている。

【今年度事業における具体的な取組内容】

以下の取組を実施することにより、富岡町の復興の状況や福島県産・富岡町産農産物の魅力についての認知向上を図る。

1 第61回ミス・インターナショナル世界大会2023出場者を対象とした招聘事業

実施期間：令和5年10月（予定）

実施体制：富岡町、委託事業者、経済産業省、一般社団法人国際文化協会

①富岡町

- ・ 事業を実施する委託事業者の選定
- ・ 委託事業者を指導・監督し、効果的な風評払拭に向けた情報発信を行う。

②委託事業者

- ・ 富岡町からの委託を受け、富岡町内の視察ツアーの企画・運営を行う。
- ・ 富岡町からの委託を受け、マスメディア等への情報の発信を行う。

③経済産業省

- ・ 福島第一原子力発電所の視察及び移動手段や宿泊施設の手配をする。

④一般社団法人国際文化協会

- ・ ミス・インターナショナル出場者の交流派遣を実施する。

概算費用：4,202千円

取組内容：第61回ミス・インターナショナル世界大会2023（2023年10月26日開催）に出場する各国代表が、地方創生として福島第一原子力発電所視察を行うことに合わせて、富岡町を訪問していただく（※）。そこで、各国代表に富岡町の文化芸能等に触れながら県産・町産農産物を味わっていただくとともに、町民とふれあいながら町の元気な姿を知っていただき、富岡町の復興の状況や県産・町産品の安全性や魅力について情報発信を行う。

※ ミス・インターナショナルを福島第一原子力発電所及び富岡町に招聘するのは経済産業省

① 町民との懇親会

県産・町産農産物等を味わいながら、文化芸能（小浜風童太鼓）や町民との交流を通じて、富岡町の復興の状況や県産・町産品の安全性や魅力を知っていただく。

② 町内の子供たちとの交流

町内の認定こども園や小中学校を訪問し、子どもたちと習字や餅つき体験、伝統芸能（小浜風童太鼓）体験などを通して、富岡町の復興、学校の復興状況、さらに県産・町産品の安全性や魅力を知っていただく。

③ 町内視察

富岡町の成り立ちと複合災害がもたらした地域の変化の伝承する「とみおかアーカイブミュージアム」、震災後に新しい産業づくりに取り組みワインを通して町産品の安全性や魅力を伝える「とみおかワインドメース」を視察する。

④ ①～③の情報発信

テレビや新聞社などのマスメディアで①～③の様子を取り上げてもらうとともに、ミス・インターナショナル出場者に①～③の視察を通じて得た知識や体験について SNS により発信してもらうことで、国内外へ富岡町の復興の状況や県産・町産品の安全性や魅力について情報発信を行う。



【今年度事業における目標】

【アウトプット】

- ・視察ツアーの実施。ミス・インターナショナル各国代表35名
- ・フォロワー数千人から数万人を持つ各国代表による SNS での情報発信（視察を通して3回以上）
- ・マスメディアを活用した情報発信1回以上

【アウトカム】

- ・富岡町が発信する情報への接触者：年200万人以上（SNSによる情報発信による接触者約200万人）

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- ・発信力のあるミス・インターナショナル各国代表に、福島県産・富岡町産品農産物の魅力や安全性、原子力被災地域の住民とのふれあいを通じて「富岡町の今」を学んでもらうことで、放射線及び放射性物質等に関する正確な知識の普及、理解向上等を図り、風評の払拭及び富岡町の魅力を世界に発信できる。
- ・富岡町へのインバウンドの回復

【次年度以降の取組】

- ・ミス・インターナショナル世界大会が日本で開催される際、今後も各国代表者に富岡町を訪問していただくよう、より効果的な情報発信方法を検討し見直しを行う。